

## 第1回総合戦略会議要旨

プロジェクト名	整理番号
令和元年度第1回八百津町総合戦略会議	
【出席者】*敬称略	会議日時
委員 10 名 八百津町役場 町長、副町長、総務課課長以下 4 名	令和元年 10 月 2 日（水） 19：00～20：30
【ぎょうせい】	協議場所
東海支社：安井・野口	八百津町役場防災センター 2階

推進委員会における決定事項等
<p>【第1回総合戦略会議要旨】</p> <p>以下のとおり第1回総合戦略会議を実施。</p> <p>■資料</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・資料1 委員名簿</li><li>・資料2 八百津町総合戦略会議設置の目的について</li><li>・資料3 八百津町まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」の概要</li><li>・資料4 八百津町人口ビジョン及び第2期総合戦略策定方針について・策定スケジュール</li><li>・資料5 八百津町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略策定体制</li><li>・参考資料1 八百津町総合戦略会議設置要綱</li><li>・参考資料2 八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略</li><li>・参考資料3 八百津町人口ビジョン</li><li>・参考資料4 まち・ひと・しごと創生基本方針2019について</li><li>・参考資料5 第5次八百津町総合計画概要版</li></ul> <p>■主な質疑事項</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 開会の挨拶（事務局）</li><li>2. 町長挨拶<ul style="list-style-type: none"><li>・今の八百津町は人口減少、高齢課、少子化、地域格差を背景に社会の枠組みが変わりつつあり、権限・財源移譲などが多く押し寄せ、これまでにない行政運営を任されている。これに対応した新しい考えをもった地方自治体の経営が急務となる。</li><li>・八百津町の生き残りをかけて真に必要な政策を最小の費用で最大の成果をあげるよう取り組まなければならない。</li><li>・自分たちの生活のことは自分で考えるという本当の意味での住民自治実現のため忌憚のない意見を頂戴したい。</li><li>・人口が減っても“みんなで作る活力のある町”をキーワードにまちづくり及び人づくりを推進し、杉原千畝氏の命の尊さ・大切さ等人道精神を八百津町の未来を担う子供たちに伝える。</li></ul></li><li>3. 委員、事務局自己紹介・委嘱状交付</li><li>4. 会長及び副会長の選出について 会長選出・飯田守継委員 副会長選出・佐藤敏則委員</li></ol>

## 5. 八百津町総合戦略の目的について、配布資料説明

- ・資料2に基づき事務局より説明
- ・平成28年度3月に策定した総合戦略とともに地方創生の取組を推進してきた。本年度は現行総合計画が5年目を迎え、計画期間が終了を迎えることから本会議において現行戦略の進捗状況評価とともに、次期総合計画の策定に向けて委員からの意見を賜りたい。
- ・地域の実情に応じた続行性のある取組を意識しながら町民、関係団体、地域企業、行政と連携し取り組んでいく必要がある。
- ・移住による定流人口ではなく、観光による交流人口でもない、関係人口を新しいキーワードに地域外の人材が地域の力となることが期待されている。
- ・持続可能な開発目標であるSDGsなどを意識し地方創生、女性や高齢者、障害者など誰もが活躍できる社会づくりを求められている。

### 【質疑応答】

- ・今年度で計画は終了する、今後の計画を話し合うという認識で良いか？（委員）  
⇒良い、人口減の幅を少なくする目的のもと施策を展開する。次回会議までに目標数値（KPI）の検証もいただく予定。（事務局）
- ・4つの目標について、2期では見直しをかけるのか？（委員）  
⇒継続するかも含め検討し、目標設定を新たに行う予定。（事務局）

## 6. 協議事項

### 1 現行八百津町「人口ビジョン」及び「総合戦略」について

- ・資料3をもとに事務局より説明。
- ・人口ビジョン策定時点の将来人口推計は今後25年で約3,792人、約34%減少し、生産年齢人口は約49%減少と推計（社人研推計）。
- ・主要因は1995年より続く自然減少と社会減少。
- ・合計特殊出生率、高齢化率については資料3参照。
- ・今後も人口減少を続け、高齢者比率が増加する。
- ・出生率2040年に2.07が達成されるケース想定、2060年7,536人維持を目標とする。
- ・目標達成のための八百津町の強みは木曾川の清流、豊かな自然に囲まれた環境と数多くの観光資源。
- ・弱みは高齢化による農林業の後継者問題、若者が定住するための創業・仕事支援、空き家・空き店舗対策。
- ・資料3の2頁参照、重要業績評価指標（KPI）の進捗状況説明。
- ・30年度までの進捗状況は次回会議に諮る予定。

### 【質疑応答】

- ・人口分析について2015年からみでの25年後という解釈でよいか？（委員）  
⇒その通り。（事務局）
- ・自然減、社会減についての簡単な説明が欲しい。（委員）  
⇒自然減は生まれてくる方と亡くなるかたの差し引き、社会増減は転出・転入の差し引き、どちらも八百津町は減少状況。（事務局）
- ・ダムに関しては観光資源として強みに入っているか？（委員）  
⇒現状総合戦略にはない、地域振興を考え検討していきたい。（事務局）
- ・将来人口について7,536人とあるが何%の減少となるか？（委員）

⇒参考資料3の46頁参照、約31,6%となる。(事務局)

・出生率に関して、2040年に2,07とあるが社会増減がない仮定か？(委員)  
⇒社会減の状況ではあるが何とかゼロを維持し、出生率2,07を達成できれば人口7,536人を見込むことができるという意味。(委託業者ぎょうせい)

・八百津町に移住されている方の移住理由などは把握しているか？(委員)  
⇒様々なケースがあるが、愛知からの比較的若い世帯が多い。理由は公共交通が少ないなどの問題もあるが自然が多いこと、伸び伸び子育てをしたい、田舎での仕事をしてみたい、都市部で事業を構えると費用がかかるなど。(事務局)

・物理的なことだけではなく地域を大切に作る、親を大切にするという心の要素を入れる考えはあるか？(委員)

⇒人を育む目標もある、今も教育に重点を置いている。郷土愛を育てていく教育という意味では戦略の中で入ってくるが具体的な分かりやすい、比較しやすい目標数値が落とし込めるかは個別の事業で検討していく。(事務局)

## 2 今後の進め方について

- ・資料4を参照し事務局より第2期の新たな視点及びSociety5,0について説明。
- ・資料4策定スケジュールについて概要説明。
- ・次回会議はアンケート結果、現行計画進捗確認を諮る予定。

### 【質疑応答】

- ・次回会議に現行計画検証とあるが既に検証終了しているのか？(委員)  
⇒現在は平成29年度まで。明日10月3日より平成30年度と5年間の検証を庁内で行い次回会議までに取りまとめる予定。(事務局)
- ・進捗とりまとめ結果を先にいただきたい。(委員)

## 3 その他

- ・会議開催の時間は本日より同じで問題はないか？(事務局)  
⇒問題はないが、調整を事前にいただきたい。(委員)

以上